

販促ツール作成事業計画書

1 申請者の概要等

フリガナ		法人番号 (13桁)	
会社名/屋号			
フリガナ		代表者役職	
代表者氏名			
事業所所在地	〒 ー		
開業・法人設立日 (西暦)	年 月 日	業種	
資本金又は出資金 (単位:千円)		従業員数 (単位:人)	
企業概要	メイン事業が製造業でない場合は、自社製造・加工を行っている事業についても企業概要に補足して記載してください。		
フリガナ		担当者役職	
担当者氏名			
連絡先住所等	〒 ー		
	TEL/携帯		
	FAX		
	E-mail	原則として、連絡はこの欄に記載のアドレス宛に行います。重要な連絡が漏れないよう必要に応じて複数のメールアドレスを記載してください。	
	URL		
国の補助金及び県 による他の補助金 の状況	補助金名		
	事業内容		

2 事業内容

(1)発注先の県内IT関連事業者

事業者名	和歌山県 IT 関連事業者登録名簿から記載してください。
事業所所在地	〒 ー
発注内容(概要)	
和歌山県IT関連事業者に発注した内容を記載してください。	

(2)申請者の現状

①SWOT 分析等による自社の現状・戦略目標
<p>自社の現状ということで、商品・製品・技術・販路等の強みや弱み、市場ニーズ・技術革新・社会環境等の機会や脅威を記載してください。</p> <p>現状を踏まえて、自社のビジョンを実現するために必要な目標を戦略目標として、具体的な数字を用いて記載してください。</p> <p>※SWOT 分析:事業上の競合やプロジェクト計画などに関係する脅威について、外部環境や内部環境を強み (Strengths)、弱み (Weaknesses)、機会 (Opportunities)、脅威 (Threats) の 4 つのカテゴリーで要因分析する経営戦略策定方法。</p> <p>強み(S): 目標達成に貢献する企業の特質。弱み(W): 目標達成の障害となる企業の特質。</p> <p>機会(O): 目標達成に貢献する外部の特質。脅威(T): 目標達成の障害となる外部の特質。</p>
②現状・戦略目標を踏まえた自社の問題点・課題
<p>自社の戦略目標を現状からみた場合に、できていないことや不足していること、弱点となっていること、または克服すべきことなどを記載してください。補助対象が販促ツールなので、販路系の記載になるかと思いません。</p>

③新たな販促活動に取り組む中で目指す目標

自社の問題点・課題を解決するために行うべきことがいくつかある中、販促活動においてはどのような目標を設定して取り組むかを具体的な数字を用いて記載してください。

(3)事業内容

①ウェブサイト等の作成又は改良を含む事業の具体的内容

本事業で行うことを可能な限り具体的に記載してください。補助対象経費のうち外注費に計上している予算で実施する内容については必ず記載してください。

②ウェブサイト等の作成又は改良を含む事業の実施効果

実施する事業によって、どのような効果(売上増加、見込客増加、LP訪問者数増加等)が期待できるか具体的に数字を用いて記載してください。

③ウェブサイト等の作成又は改良と連動した広報・マーケティング戦略の内容

本事業で行うことを可能な限り具体的に記載してください。補助対象経費のうち広報費に計上している予算で実施する内容については必ず記載してください。

補助金の活用はなくても、作成した販促ツールをどのように活用するか、販促ツールにどのように誘客するかなど併せて実施する広報・マーケティングの手法について具体的に記載してください。